



2024年

# おすすめの本 高学年

過去3年間の出版物を中心に  
市立須坂図書館職員が選びました。



ほん  
本をよむのは だれのため？ おかあさんのためじゃない。  
がっこうのせんせいのためでもない。たくさんたべて、せが  
のびるように、たくさんよんで、<sup>おお</sup>こころを大きくするため。  
ぼくのため。わたしのため。



**じじつは じじつ、ほんとうのことだよ**  
ちいさな かなしい じじつのおはなし  
ジョナ・ウィンター/ぶん ピート・オズワルド/え 金平茂紀/やく  
イマジネーション・プラス

あるところに小さな「じじつ」がいました。ある日、え  
らそうなひとたちがやってきて、じじつを箱にとじこめ  
ました。そのひとたちがまきちらした「うそ」で、よのな  
かはだんだんくらくなくなっていき…。

**E オス\***



どうぶつびょういん  
**やまの動物病院**

なかがわちひろ/作・絵 徳間書店

「ま<sup>どうぶつびょういん</sup>ちの動物病院」は町の動物たちのお医者<sup>まち</sup>さん。<sup>いしや</sup>  
ま<sup>せんせい</sup>ちの先生にかわれている、とらねこのとらまるは、  
夜になると「やまの動物病院」をひらきます。キツネや  
リス、コウモリ…山の患者<sup>やま</sup>さんがつぎつぎにや<sup>かんじや</sup>ってきます。

913ナ



りゅう よ むすめ  
**竜が呼んだ娘**

柏葉幸子/作 佐竹美保/絵 朝日学生新聞社

谷<sup>たに</sup>底<sup>そこ</sup>のその村は「罪<sup>むら</sup>人の村」と呼ばれ、そこ<sup>よ</sup>から  
出<sup>で</sup>る手段<sup>しゅだん</sup>はただひとつ、竜<sup>りゅう</sup>に呼ばれること。10歳<sup>さい</sup>の  
少女<sup>しょうじょ</sup>・ミアは、竜<sup>りゅう</sup>に呼ばれ、おびえながらも村<sup>むら</sup>を出<sup>で</sup>ま  
す。竜<sup>りゅう</sup>の<sup>の</sup>はこ<sup>はこ</sup>に<sup>の</sup>乗<sup>のり</sup>せられ、運<sup>はこ</sup>ばれた先<sup>さき</sup>は…？

913カ



おとこ  
**あきらめなかった男** 大黒屋光太夫の漂流記

小前亮/作 おとないちあき/絵 静山社

江戸時代。風<sup>え</sup>にあ<sup>ど</sup>い、長<sup>なが</sup>い漂<sup>ひょうりゅう</sup>流<sup>りゅう</sup>のはてに、ロシ<sup>ろし</sup>ア  
の離<sup>りとう</sup>島<sup>とう</sup>にたどりつ<sup>おとこ</sup>いた男<sup>おとこ</sup>たちが<sup>おとこ</sup>いた。ことばも通<sup>つう</sup>じ  
ず、食<sup>た</sup>べ物<sup>もの</sup>も口<sup>くち</sup>にあわ<sup>い</sup>ない異<sup>い</sup>国<sup>こく</sup>の地<sup>ち</sup>で、船<sup>せんとう</sup>頭<sup>とう</sup>・大<sup>だい</sup>黒<sup>こく</sup>  
屋<sup>や</sup>光<sup>こう</sup>太<sup>た</sup>夫<sup>ふう</sup>と船<sup>ふな</sup>乗<sup>のり</sup>り<sup>の</sup>た<sup>の</sup>ち<sup>の</sup>のアドベンチャーがはじまる！

913コ



## ぶん げん じ ものがたり 10分でおもしろい 源氏物語

時海結以/著 山本淳子/監修 せきやよい/イラスト 世界文化社

にほん だいひょう こてん げん じ ものがたり  
日本を代表する古典「源氏物語」は、はなやかな平  
あん きぞく こい ものがたり しょうがっこうこうがくねん たの よ  
安貴族の恋の物語です。小学校高学年が楽しく読め  
るように、げん じ ものがたり じょう  
源氏物語54帖のあらすじと読みどころを1  
わ ぶん ぜん わ  
話10分、全6話に、わかりやすくまとめました。

昔話・全集 913ジ

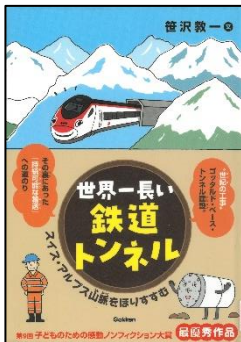


## もの ず かん おとな 物のかたち図鑑 大人もしらない かたちのひみつ

形の科学会/監修 講談社

ふだん、なにげなく使っているえんぴつやサッカー  
ボール、ペットボトルにも、そのかたちには理由があ  
ります。物のかたちにつまった「なぞ」と「ひみつ」を解  
きあかすと、せかい せ かい も  
き明かすと、世界がもっとよく見えてくる！

500モ



## せ かい い ち な が て つ ど う 世界一長い鉄道トンネル スイス・アルプス山脈をほりすすむ

笹沢教一/文 鈴木さちこ・萩原まお/絵 Gakken

スイス・アルプス山脈をつらぬく、せ かい い ち な が て つ ど う  
トンネル「ゴツタルド・ベース・トンネル」。「世紀のプロ  
ジェクト」が完成するまでの長い道のりとは…？現地  
き し ゃ し ゅ ざ い た の よ り ょ う  
記者の取材による、楽しく「読む旅行」。

514サ



# きいてきいて！音と耳のはなし

高津修・遠藤義人/文 長崎訓子/絵 福音館書店

音は、ふるえる空気の波です。その波は耳の器官から、電気信号となって脳に届きます。雨の音。車の音。鳥のさえずり。目をつぶって耳をすませましょう。音の魅力と耳のふしぎが楽しくわかる本。

科学のえほん Eナガ

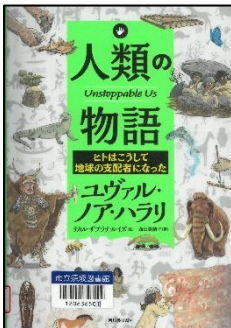


# なんてくさいんだ！ロンドンを救ったジョセフの物語

コリーン・ペフ/文 ナンシー・カーペンター/絵 金原瑞人/訳  
あかつき教育図書

1858年夏、テムズ川はひどいにおいを放っていました。川が「うんち」でいっぱいになっていたのです。コレラの発生源ともなった川に下水道を通し、ロンドンを救った男をえがく歴史絵本。

Eか



# 人類の物語 ヒトはこうして地球の支配者になった

ユヴァル・ノア・ハラリ/著 リカル・ザブラナ・ルイズ/絵 西田美緒子/訳 河出書房新社  
シリーズ：「人類の物語 どうして世界は不公平なんだろう」

私たち人類はライオンほど強くないし、イルカほどうまく泳げないし、空を飛べる翼だってもっていない。それなのに、どうして地球を支配できるようになったんだろう？とびきりふしぎで、ほんとうの物語。

209 八